

第3回 袋川緑地サクラ管理計画策定協議会 議事録（概要）

日 時：令和6年4月25日（木）（13：30～15：00）

場 所：鳥取市役所 多目的室1

出席者：委員8名

永松委員、甲田委員、谷尾委員、清末委員、粟嶋委員、川端委員、
森山委員、山根委員

（議題）

- 袋川緑地サクラ管理計画（案）の骨子について
- 市民への意見募集（案）について
- 今後のスケジュール

1. 開会

2. 事務局より、袋川緑地サクラ管理計画（案）の骨子、市民への意見募集（案）、今後のスケジュールについて説明

3. 意見・質疑応答

（清末委員）会議や意見募集もよいが、なかなか話が進まない。もう少し話を早く進めてもらいたい。

（谷尾委員）綺麗な並木、街並みに溶け込んだ桜にするには、1本ずつ診断し、写真を撮って継続的に見ていくことが大事。桜土手の歴史や現状の問題というのは比較的わかりやすいが、植栽や維持管理計画は、考え方しだい。弱っているから新しくするというのもあるし、いただいたものだから極力大きくしていこうなど。いろいろな考え方があるので、その整理が難しいと思う。

（粟嶋委員）今あるブロックは取って土に戻すのがよい。そのほうが、道は広くみえるし、木の根にもよい。先日、現地を歩く人と話をしたが、歩きにくいと言っていた。

（永松委員）今後、管理計画をつくっていく上で、歩道をどうするかなど、今回のご意見をどう反映させていくか。管理計画をつくって、予算も確保し、袋川緑地のサクラ並木を望ましい姿にしていく。その結果、皆さんの関心も高まり、より良くなっていく。

（森山委員）2点伺いたい。1つ目は財源の目星はあるか。2点目は、私どもも参加させてもらっている中心市街地活性化協議会等と情報交換されているか。

（事務局）財源は、公園の維持管理という点でなかなかないのが現状。中心市街地のほうとは情報交換はしている。一足飛びに進めるのは難しいが、関係機関とも連携し、予算確保に向けて頑張りたい。

- (永松委員) 木をどうしていくかはもちろんのこと、関係者等と連携をとって進めていくというところも重要。管理計画に盛り込んでおいてもらえればと考える。
- (甲田委員) 意見募集について、地域住民の方でも意見が分かれるところもある。何かするときのエビデンスとして、意見をきくことは大事。
1つ伺いたいのは、診断結果で「不健全」となっている樹木は、もう伐採するしかないものか。
- (永松委員) その木がものすごくシンボルとして重要で、何としても生かさないといけないようなときのように、できる限りの措置をしてあげれば回復する可能性はある。今回の診断は外観により「不健全」と判定したものである。
- (清末委員) 桜は忌地になりやすいので、土を入れ替えてやることも大事。
- (山根委員) スピード感をもって良い方向にということろは共有しているところと思う。直近でやっていくべきこととあわせて、併せて 50 年後 100 年後の姿を計画で示すことも大切と考えている。
- (粟嶋委員) 市としての意気込みや盛上げが必要。
- (永松委員) 単に桜の管理計画だけでなく、運動を広げて盛り上げていくようなことをやってはどうか。そういう意味でアンケート結果は重要。さきほど、50 年後の桜土手の話があったが非常に良いと思う。50 年後、100 年後といった長期的なところも盛り込んでいただけたら。
- (川端委員) 皆さんの意見を伺って、実際そのとおりだと思う。1 本 1 本の毎木調査というのは必要と思う。また、ここで花見をして、ごみを散らかして帰る人もいるので、啓蒙していくことも大事と考える。
- (永松委員) アンケートについてのご意見はあるか。
- (谷尾委員) 深い回答を得るには、「歴史と今サクラが弱っています。さて、どうしましょう」ではなく、100 年度を目指している、市民が集える緑地公園としてなど、もっと強いパワーワード、夢物語を問いかけるようなことが必要では。
- (清末委員) そのとおりだと思う。地域には反対する人もいるので、話し合いの中で、皆が理解できるような方向で進んでいただければありがたい。
- (事務局) ご意見のとおり、今のアンケートでは非常に行政的な書き方になっているので、今回のご意見を踏まえて再考していきたい。
- (甲田委員) アンケートを通じて、啓発もできると思う。「そんなにすごいところだった」と再認識できるところもあると思うので、ぜひ練りあげてもらえたらと思う。
- (事務局) 今回、活発な意見をいただき感謝。
次回の協議会は 9 月を予定しているが、計画のたたき台となる素案を提案できたらと考えているので、その際はまたご意見をいただけたらと思います。

以上